



# 花高通信

No. 2 H26. 10. 23

## ★日本一のもちつき大会

6年ぶりの本格参加

8月3日(火)

花泉夏まつり「25周年記念日本一のもちつき大会」に参加いたしました。これまでもNPO等のお手伝いでボランティア参加を続けていましたが、今年は自分たち自身で餅をつき、おふるまいをする**本格参加**となりました。

4人のお母さん方と地域の方々のご指導・応援をいただきながら、生徒は有志の**野球部、茶道・家庭部**の参加となりました。朝一番のりで準備をはじめ、多数のブースの**テントはりのボランティア**もこなし、初心者ながら、満を持して？の参加でした。

メニューは前日から準備した、「**ふすべ**」「**あんこ**」「**いなり**」の三種類です。おかげさまでお客様が列をなし、当初の300皿に、さらに100皿を加えてすべてさばくことができました。新しく作った「**花高のぼり旗**」のお披露目の日ともなりました。

**快晴の夏空のもと、地域の皆様との触れ合い**を存分に満喫しました。



## ★平成26年度薬物乱用防止教室

大きな反響、テレビ・新聞にも取り上げられる

9月12日(金)

今年度の「薬物乱用防止教室」は、講師に俳優の**内谷正文さん**(44)をお招きして、一人芝居と講演を通して薬物依存症の恐ろしさを伝えていただきました。(花泉ライオンズクラブのご厚意で、お忙しい講師を岩手では初めてお呼びすることができ、**花泉中学校3年生の皆さん・保護者の方・一般の方**などにもお聞きいただきました。)

17年間**薬物に苦しんだ自分や弟の体験に基づき**、幻覚や幻聴・被害妄想また一転して極度の不安感におびえる症状を強調し、家庭までも崩壊するさまを鬼気迫る表情で演じました。講演では「薬物は人間を化け物にする。1度使うと一生関わっていかなくてはならない」と指摘し、「何でも話せる友達をたくさん作り、薬物から逃げる勇気を持ってほしい」と訴えました。最後に**厚生委員長3年真鍋祐佳さん**が「薬物が体に及ぼす悪影響がどんなものか分かりました。ありがとうございました。」と謝辞を述べました。

全国的にも注目の講師とあって東京からも**TBS**の取材が入り、翌日の「**あさチャンサタデー**」で講演会の様子が放映されました。地元でも**NHKニュース**で**生徒会長佐藤拓海君**のインタビューが流れ、**岩手日報、岩手日日新聞**等に記事が掲載されました。



## ★地域の皆さんとの交流

「いこいの華」「さくら園」の皆さんと 7月23日(金)・8月31日(日)

7月23日に開かれた高齢者グループホーム「いこいの華」交流会に、花高生も参加しました。合唱の披露や流しそうめんなどを一緒に楽しみました。2年生の佐藤千亜希さん、佐藤鼓さんはそれぞれ「お年寄りへの接し方も勉強になった」、「医療関係に興味があり、今後役に立てられれば」と話しました。

8月31日の「さくら園まつり」には、本校から家庭部の3人が参加しました。パン販売などで日頃からお世話になっている皆さんと、感謝の気持ちを込めて交流のひと時を持ちました。



## ★災害復興援助ボランティア

2学年 9月11日(木) 1学年 10月2日(木)

2年生は気仙沼町、1年生は南三陸町において、災害復興援助ボランティアに取り組んできました。町の方のお話を聞いたり、実際にサンドバッグを作る仕事を手伝ったりしながら、こころとからだで復興について考え、思いを深める経験を積んできました。



## ★第66回全日本合唱コンクール 岩手県大会 5年連続出場表彰



## ★一関警察署一日警察署長委嘱 市内を駆け巡り大活躍

10月10日(金)

今年度の「一関警察署一日警察署長」に、本校2年・生徒会副会長の伊藤瑞穂さんが委嘱されました。委嘱状を受け取った後「子供が被害にあう事件や事故・災害の報道を見て、胸が締め付けられる思いでした。地域の安全を守る活動に携われることを誇りに思います」とあいさつしました。その後市内を巡り、沢内民区公民館・花泉小学校等でお年寄りや、小学生に防犯講話を行い、戸別訪問等も行いました。最後は花泉高校で自転車の二重ロックの啓発を行いました。制服姿も凛凛しく、講話も素晴らしいということで、署員の方々からも絶賛の言葉を頂戴しました。地元ケーブルテレビ(関工の生徒が職場体験中)、岩手日報、岩手日日新聞にも取り上げられました。



## ★進路達成状況 (10月23日現在)

3年生、がんばってます!

進学: 岩手県立大学、石巻専修大学、修紅短期大学 等

就職: 富士通ゼネラル、日本端子、日立建機 等

内定率92% (結果待ち2名) 地元就職率84%